

# 定期作況報告

平成17年10月  
(10月20日現在)

北海道立北見農業試験場

# 1. 気象経過

## 1. 気象経過

9月下旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比13%）。日照時間は平年並であった（平年比112%）。

10月上旬：最高気温は平年より極めて高く、最低気温は平年並、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年より少なかった（平年比20%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比132%）。

10月中旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年より極めて高かった。降水量は平年より少なかった（平年比22%）。日照時間はやや多かった（平年比133%）。

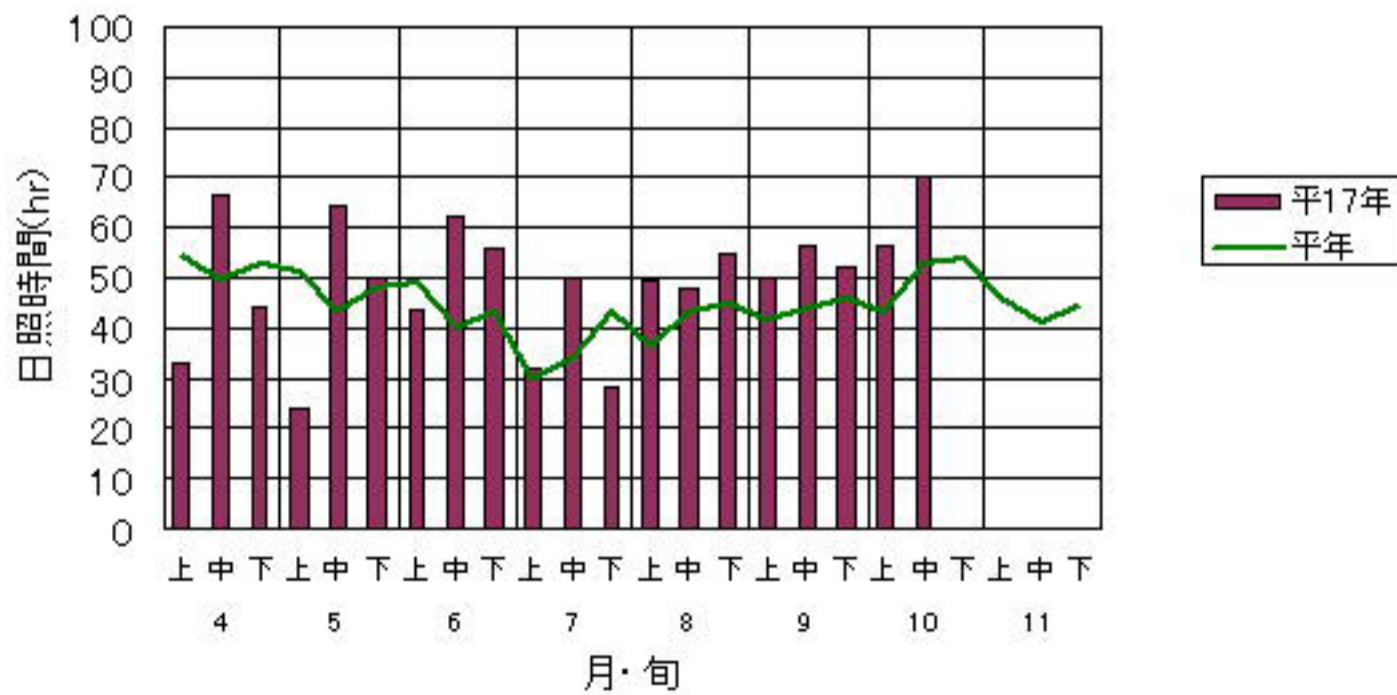
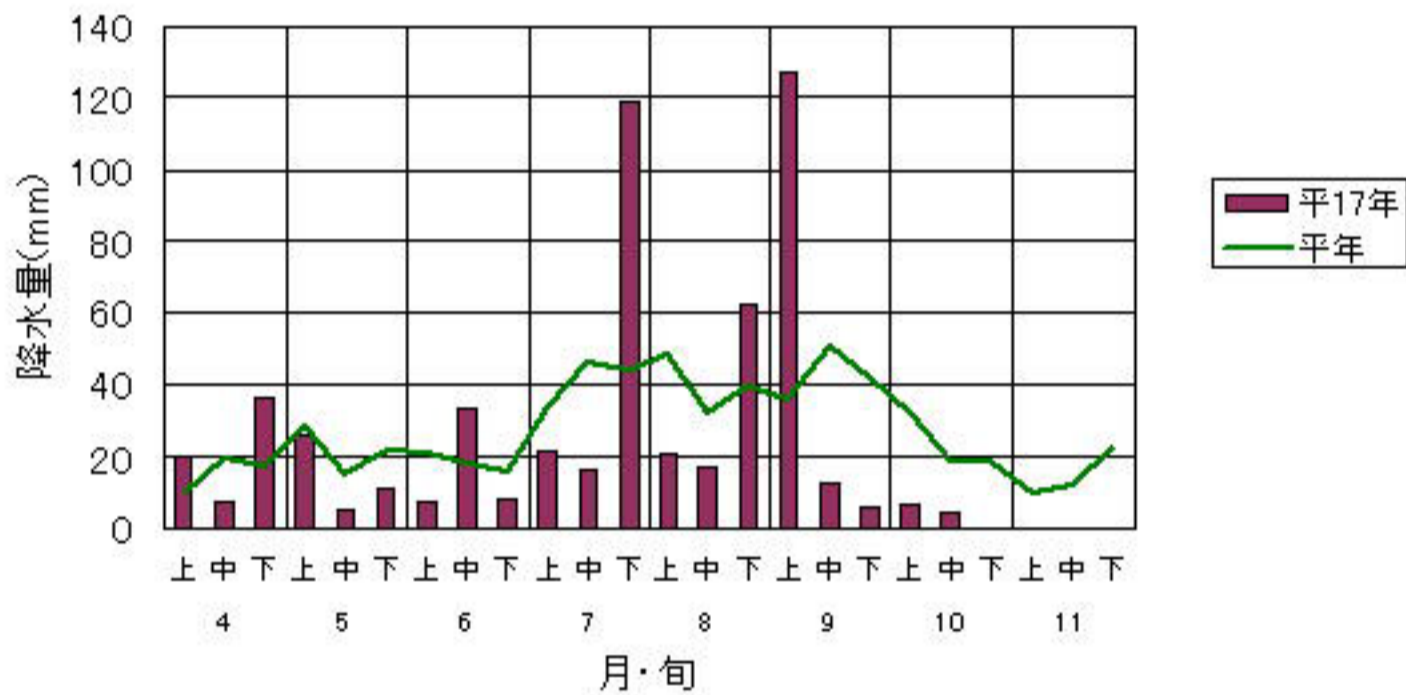
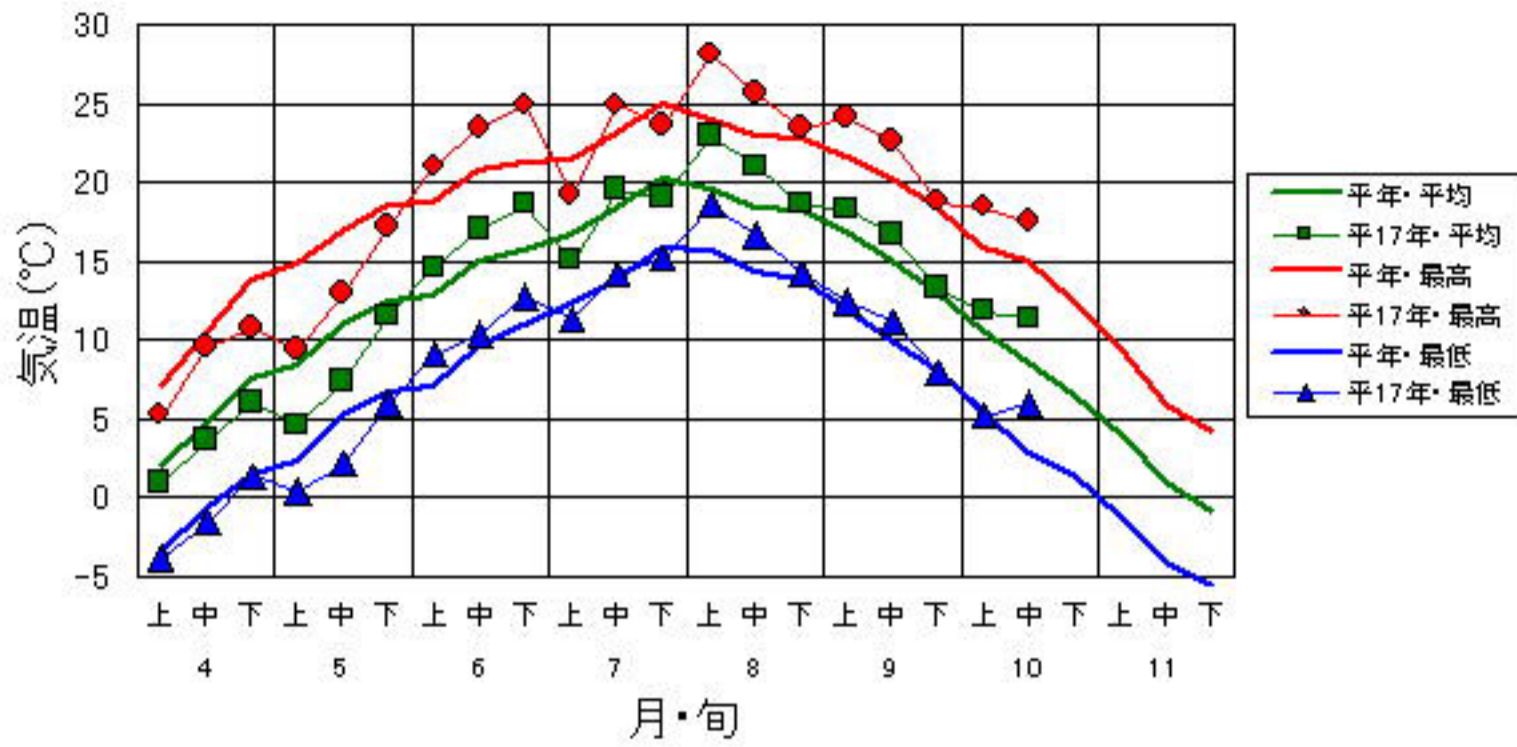
以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は気温は平年よりやや高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりやや多かった。

気象表

項目 月旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	13.3	12.8	0.5	18.7	18.2	0.5	7.9	7.9	0.0
10月上旬	11.8	10.5	1.3	18.4	15.9	2.5	5.1	5.5	△0.4
10月中旬	11.2	8.6	2.6	17.3	14.8	2.5	6.0	2.8	3.2
平均	12.1	10.6	1.5	18.1	16.3	1.8	6.3	5.4	0.9

項目 月旬	降水量（mm）			日照時間（h）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	5.5	41.9	△36.4	52.1	46.2	5.9
10月上旬	6.5	31.9	△25.4	56.7	42.9	13.8
10月中旬	4.0	18.5	△14.5	70.0	52.5	17.5
合計	16.0	92.3	△76.3	178.8	141.6	37.2

注) 1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。  
2) 平年値は前10か年間の平均である。



## 2. 当場の作況<sup>注)</sup>

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

### 1) とうもろこし(サイレージ用) 作況: やや不良

事由: 平年より9日早い9月15日に収穫を行った。収穫時の稈長は平年を上回り、収穫時の熟度および総体の乾物率は平年並であったが、乾物総量および推定TDN収量の平年比はそれぞれ97%、95%であった。

以上のことから、現在の作況は「やや不良」である。

調査項目	ディアHT		
	本年	平年	比較
収穫期(月日)	9.15	9.24	△9
収穫時の熟度	熟期 -中葉	熟期 -中葉	-
稈長(cm)(収穫期)	236	182	54
生総重(kg/10a)	5722	5880	△158
乾物莖葉重(kg/10a)	756	733	23
乾物雌穂重(kg/10a)	686	759	△73
乾物総量(kg/10a)	1442	1492	△50
同上平年比(%)	97	100	△3
推定TDN収量(kg/10a)	1023	1072	△49
同上平年比(%)	95	100	△5
総体の乾物率(%)	25.2	25.6	△0.4
乾物雌穂割合(%)	48.4	50.9	△2.5
有効雌穂割合(%)	98.3	99.7	△1.4

注) 平年値は前7か年のうち平成10年、16年を除く5か年の平均。

推定TDN収量 = 乾物莖葉重 × 0.582 + 乾物雌穂重 × 0.850。

### 2) 大豆 作況: 良

事由: 9月下旬の平均気温は平年並であったが、9月上・中旬の高温により登熟が進んだことから、成熟期は平年より4~5日早く、「トヨコマチ」は9月25日、「トヨホマレ」は10月1日であった。百粒重は「トヨコマチ」、「トヨホマレ」とともに平年より約2割重く、着莢数も「トヨコマチ」が約2割、「トヨホマレ」は約3割多かったことから、子実重は「トヨコマチ」は平年より43%、「トヨホマレ」は38%多かった。

以上のことから、現在の作況は「良」である。

調査項目	トヨコマチ			トヨホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期(月日)	9.25	9.30	△5	10.1	10.5	△4
主莖長(cm)(成熟期)	58.8	61.3	△2.5	50.2	57.9	△7.7
主節節数(成熟期)	11.0	11.2	△0.2	11.2	11.6	△0.4
分枝数(本/株)(成熟期)	6.4	5.3	1.1	5.3	4.6	0.7
着莢数(個/株)(成熟期)	73.9	61.1	12.8	92.7	70.4	22.3
子実重(kg/10a)	439	306	133	434	314	120
同上平年比(%)	143	100	43	138	100	38
百粒重(g)	38.0	31.4	6.6	36.6	30.1	6.5
屑粒率(%)	0.7	0.7	0.0	0.5	0.8	△0.3

注) 平年値は、前7か年中平成10年、16年を除く5か年の平均。

### 3) 小豆

#### 作況：良

事由：成熟期は、「サホロショウズ」は平年並の9月17日であったが、「エリモショウズ」は平年より4日遅い9月28日であった。百粒重は「エリモショウズ」、「サホロショウズ」ともに平年よりやや軽いが、着莢数は両品種とも約2割上回っており、子実重は「エリモショウズ」は平年より28%、「サホロショウズ」は19%多かった。  
以上のことから、現在の作況は「良」である。

調査項目	エリモショウズ			サホロショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月・日)	9.28	9.24	4	9.17	9.17	0
主莖長(cm) (成熟期)	79.7	58.8	20.9	51.2	47.7	3.5
主節節数 (成熟期)	14.6	13.7	0.9	11.6	11.1	0.5
分枝数(本/株) (成熟期)	4.8	3.8	1.0	4.2	4.5	△0.3
着莢数(個/株) (成熟期)	56.0	47.0	9.0	58.0	49.6	8.4
子実重(kg/10a)	469	371	98	387	324	63
同上平年比(%)	126	100	26	119	100	19
百粒重(g)	14.3	15.5	△1.2	14.5	16.1	△1.6
屑粒率(%)	2.9	4.3	△1.4	5.2	4.3	0.9

注) 平年値は、前8か年中平成10年、14年および試験を中止した12年を除く5か年の平均。

### 4) 菜豆

#### 作況：良

事由：百粒重は、「大正金時」は平年よりやや軽かったが、「福勝」は概ね平年並であった。着莢数は「大正金時」は14%、「福勝」では25%平年より多かった。子実重は「大正金時」は平年より8%、「福勝」は19%多かった。ただし、北見農試圃場ではインゲン黄化病の発生が多く、約3割の個体に発病が見られた。  
以上のことから、現在の作況は「良」である。

調査項目	大正金時			福勝		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	21.3	18.7	2.6	21.6	17.3	4.3
子実重(kg/10a)	322	299	23	392	330	62
同上平年比(%)	108	100	8	119	100	19
百粒重(g)	68.0	73.2	△5.2	88.1	88.4	△0.3
屑粒率(%)	5.9	3.0	2.9	6.4	4.1	2.3

注) 平年値は、前8か年中平成11年、13年および再播した10年を除く5か年の平均。

## 5) ばれいしょ

## 作 況：やや良

事 由：「男爵薯」は前報通り、夏場のまとまった降水と十分な日照条件により、上いも重は25%平年を上回った。「コナブキ」は、萌芽の遅れが影響し、生育は平年より下回って推移していたが、夏場のまとまった降水と十分な日照条件により持ち直し、枯凋期が10月19日と3日遅れたこともあって、収量は、上いも重で平年比97%、でん粉重で94%と平年に近いレベルまで持ち直した。

以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯凋期 (月日)	9.11	9.6	5	10.9	10.6	3
上いも数(個/株)	89	9.6	△ 0.7	8.2	9.5	△ 1.3
上いも1個重(g)	132	96	36	126	110	16
上いも重(kg/10a)	5227	4182	1045	4606	4761	△ 155
同上平年比(%)	125	100	25	97	100	△ 3
でん粉価(%)	15.6	16.0	△ 0.4	22.5	23.1	△ 0.6
でん粉重(kg/10a)	-	-	-	990	1053	△ 63
同上平年比(%)	-	-	-	94	100	△ 6

注) 平年値は前7か年中、平成10年、15年を除く5か年の平均。

## 6) てんさい

## 作 況：良

事 由：収穫は平年並の10月19日に行った。前節に続き日中の気温が高く推移したため、地下部の肥大は順調であった。また、10月上旬までは最低気温がほぼ平年並に推移した上に、降水量が平年より少なかったため、根中糖分の蓄積も良好であった。2品種平均の糖量は、移植品種では平年比123%、直播栽培では117%と非常に良好な作柄であった。

以上のことから、現在の作況は「良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
収穫期 (月日)	10.19	10.20	△ 1	10.19	10.20	△ 1	10.19	10.20	△ 1
茎葉重(kg/10a) (収穫期)	4976	5665	△ 689	5191	5595	△ 404	4914	5959	△ 1045
根 重(kg/10a) (収穫期)	7083	6085	998	7187	6450	737	5946	5399	547
同上平年比(%)	116	100	16	111	100	11	110	100	10
根中糖分(%) (収穫期)	18.17	17.19	0.98	18.84	17.61	1.23	18.00	16.93	1.07
同上平年比(%)	106	100	6	107	100	7	106	100	6
糖量(kg/10a) (収穫期)	1287	1043	244	1354	1133	221	1070	914	156
同上平年比(%)	123	100	23	120	100	20	117	100	17

注) 平年値は前7か年中、直播「モノホマレ」は平成11年、16年、移植「モノホマレ」は平成10年、16年、「アーベント」は平成10年、16年をそれぞれ除く5か年の平均。

7) 牧草（チモシー） 作 況：不良

事 由：10月6日に収穫した3番草は、草丈が平年より高かったが、乾物収量は平年比89%と少なかった。1番草からの合計乾物収量は平年比89%の933kg/10aであった。  
以上のことから、現在の作況は「不良」である。

調査項目	ノット			
	本年	平年	比較	
刈取日	3番草	10.6	10.6	0
病害罹病程度	3番草	4.3	4.5	△ 0.3
草丈(cm)	3番草	57	41	16
生草収量(kg/10a)	1番草	2254	2843	△ 589
	2番草	858	1286	△ 428
	3番草	480	851	△ 371
	合 計	3592	4980	△ 1388
乾物率(%)	1番草	25.4	24.2	1.2
	2番草	23.0	22.0	1.0
	3番草	34.0	21.7	12.3
乾物収量(kg/10a)	1番草	573	664	△ 91
	2番草	198	279	△ 81
	3番草	162	182	△ 20
	合 計	933	1124	△ 191

注) 平年値は前3か年の平均(耕種概要・調査項目の変更による)。